

修正前

○ 令和元年度の経営目標達成状況及び令和2年度目標設定表

II. 設立目的と事業内容の適合性(事業効果、業績、CS)

戦略目標	成果測定指標	新規	単位	ウエイト (R1)	H30実績	R1目標	R2目標	ウエイト (R2)	中期経営計画 (R1~R2)		R2目標設定の考え方 (数値の根拠) ※累積数値による目標設定の場合、その理由も記載	戦略目標達成のための活動事項
						実績(見込)			R2目標	最終年度目標		
② 鉄道施設の検査・工事の適正実施 確認	検査・工事の不備による事故防止		件	5	-	0	0	5	0	0	鉄道施設の検査・工事はJR西日本が実施するが、第三種鉄道事業者として確認する必要がある。	・年間の検査計画、検査報告のヒアリング実施、疑義の確認
						0						
③ 安全に対する意識の醸成	全社員に対する安全研修の実施		回	5	-	1	1	5	-	-	第三種鉄道事業者として、常に、鉄道の安全に関する意識の醸成を図る。	・全社員を対象とした、社内研修の実施
						1						

III. 健全性・採算性(財務)、コスト抑制と経営資源の有効活用・自立性の向上(効率性)

④ 補助金の効率的・適切な執行	補助金審査(会計検査院、及び補助金交付機関:鉄道・運輸機構、自治体)における予算執行等に関する指摘事項		件	20	0	0	0	20	-	-	補助金交付機関(鉄道・運輸機構、自治体)、会計検査院からの検査において、予算執行に関する指摘事項0件を目標とする。	・JRとの連絡会議の内容充実。 ・社員の成本管理意識の徹底。チェック体制の整備。
						0						
⑤ 事務処理の効率化と適正な人員配置	一般管理費の縮減		千円	20	280,769	203,000	203,000	20	-	203,000	一般管理費については、会議費や旅費などの事務所運営経費の最大限の縮減に努めている一方、全線開業に伴う組織の縮小を検討することにより、目標額(203,000千円/年)以下に抑える。	・事業進捗に応じた適正な人員配置が行えるよう派遣元と調整。 ・業務量、緊急性、重要性による現有社員の弾力的、機動的配置。
						× [238,230]						

【凡例】

- ・☆はR2からの新規項目
- ・×は目標値未達成
- ・↓は前年度実績比マイナスの目標値
- ・〔 〕内の数値は、参考として記入した実績見込値
- ・〈 〉内の数値は、当該年度の経営目標として設定していないため、参考として記入した実績値

# 修正後

## II. 設立目的と事業内容の適合性(事業効果、業績、CS)

戦略目標	成果測定指標	新規	単位	ウエイト (R1)	H30実績	R1目標	R2目標	ウエイト (R2)	中期経営計画 (R1~R2)		R2目標設定の考え方 (数値の根拠) ※累積数値による目標設定の場合 は、その理由も記載	戦略目標達成のための活動事項
						実績(見込)			R2目標	最終年度目標		
② 鉄道施設の検査・工事の適正実施 確認	検査・工事の不備による事故防止		件	5	-	0	0	5	0	0	鉄道施設の検査・工事はJR西 日本が実施するが、第三種鉄道 事業者として確認する必要がある。	・年間の検査計画、検査報告のヒアリング 実施、疑義の確認
						0						
③ 安全に対する意識の醸成	全社員に対する安全研修の実施		回	5	-	1	1	5	-	-	第三種鉄道事業者として、常 に、鉄道の安全に関する意識の 醸成を図る。	・全社員を対象とした、社内研修の実施
						1						

## III. 健全性・採算性(財務)、コスト抑制と経営資源の有効活用・自立性の向上(効率性)

④ 補助金の効率的・適切な執行	補助金審査(会計検査院、及び補助金交付 機関:鉄道・運輸機構、自治体)における予 算執行等に関する指摘事項		件	20	0	0	0	20	-	-	天候の影響による現場 での遅延や、地元住民 との調整を行う中での 問題等、偶発的事象が 発生する中、補助事業 の適正な執行を社員全 員が徹底して取組むこ としており、その指標 として「補助金検査の指 摘事項0」を目標とす る。	・JRとの連絡会議の内容充実。 ・社員のコスト管理意識の徹底。チェック 体制の整備。
						0						
⑤ 事務処理の効率化と適正な人員配置	一般管理費の縮減		千円	20	280,769	203,000	203,000	20	-	203,000	一般管理費については、会議費や旅 費などの事務所運営経費の最大限の 縮減に努めている一方、全線開業に 伴う組織の縮小を検討することによ り、目標額(203,000千円/年)以下に 抑える。	・事業進捗に応じた適正な人員配置が行 えるよう派遣元と調整。 ・業務量、緊急性、重要性による現有社員 の弾力的、機動的配置。
						× [238,230]						

**【凡例】**

- ・☆はR2からの新規項目
- ・×は目標値未達成
- ・↓は前年度実績比マイナスの目標値
- ・〔 〕内の数値は、参考として記入した実績見込値
- ・( )内の数値は、当該年度の経営目標として設定していないため、参考として記入した実績値